

講義コード	11C0115802	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	マルクス経済学基礎B					北原 克宣		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	マルクス経済学基礎は、資本主義経済の基本的な仕組みとその歴史的位を理論的に明らかにすることを目的とする。そのために、第1期「現代資本主義論基礎」の内容を踏まえ、カール・マルクス『資本論』で示された資本主義論をもとに資本主義を説明し、資本主義とその現状に対するさまざまな角度からの検討や評価を行う。								
到達目標	①資本主義経済とその基本的な構成要素について、マルクス経済学の理論を用いて説明できるようにする。 ②現在の経済社会の矛盾を指摘し、これからの社会のあり方を具体的に考え、説明できるようにする。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業前1週間の社会の動きについて新聞を読み、授業前には授業で習う箇所のテキストや関連図書を読むなど、60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】はじめに 【第2回】社会発展における労働の役割 【第3回】社会発展の諸段階 【第4回】商品の価値と使用価値 【第5回】貨幣と商品の価格 【第6回】貨幣の諸機能 【第7回】剰余価値の生産（1） 【第8回】剰余価値の生産（2） 【第9回】資本主義的生産様式の諸段階と現段階（1） 【第10回】資本主義的生産様式の諸段階と現段階（2） 【第11回】労働力の価値と賃金 【第12回】資本の蓄積過程と雇用・失業問題 【第13回】利潤と利潤率、競争と利潤率の均等化 【第14回】信用制度と金融資本 【第15回】恐慌と景気循環								
成績評価の方法	期末試験（90％）、授業への取り組み姿勢（10％）								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックを翌週の授業にて行う。								
教科書	『改訂新版 現代社会経済学』北村洋基（桜井書店）2013年								
指定図書	『経済と社会』長島誠一（桜井書店）2004年								
参考書									
教員からのお知らせ	授業で用いるスライド資料は、共有ストレージなどに掲載されます。受講者は各自授業前にプリントして、持参してください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内でも対応します。								
その他									